

令和7年度 生徒・保護者 学校評価アンケートについて

- 令和7年11月に昨年度同様の質問項目で生徒対象・保護者対象のアンケートを実施しました。それぞれの評価項目に対して「1:良く当てはまる」「2:だいたい当てはまる」「3:あまり当てはまらない」「4:当てはまらない」の4つから選んでいただきました。
- 各質問の年度毎の数字(%)は「1:良く当てはまる」「2:だいたい当てはまる」の合計(%)を記しました。

No	項目	生徒 (R7. 53名回収) (R6. 62名回収) (R5. 82名回収)			保護者 (R7. 52名回収) (R6. 61名回収) (R5. 82名回収)		
		R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
1	学校として、スクールポリシー（学校HP「岩高の教育」に掲載）に基づいた教育課程が編成・実践されている。	90.2%	100.0%	100.0%	92.7%	96.7%	96.2%
2	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われていますか。	89.0%	95.2%	96.2%	85.4%	90.2%	88.5%
3	挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われていますか。	92.7%	96.8%	96.2%	96.3%	93.4%	96.2%
4	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われていますか。	92.7%	96.8%	96.2%	84.1%	90.2%	94.2%
5	教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができていますか。	87.8%	96.8%	94.3%	91.5%	96.7%	92.3%
6	学校として、部活動は活発に行われていますか。	87.8%	98.4%	92.5%	82.9%	90.2%	88.5%
7	学校として、生徒会活動は活発に行われていますか。	89.0%	93.5%	96.2%	93.9%	93.4%	96.2%
8	自分にとって、有意義な学校行事はありますか。	86.6%	95.2%	90.6%	90.2%	96.7%	94.2%
9	学校として、地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいますか。	91.5%	93.5%	94.3%	87.8%	86.9%	90.4%
10	生徒に対して（保護者に対して）、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられていますか。	90.2%	100.0%	98.1%	78.0%	83.6%	84.6%
11	保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられていますか。	90.2%	98.4%	98.1%	91.5%	86.9%	86.5%
12	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整理されていますか。	70.7%	80.6%	64.2%	74.4%	72.1%	65.4%
13	学校として、日頃からいじめの実態把握や早期発見に取り組んでいますか。	81.7%	90.3%	94.3%	70.7%	77.0%	80.8%
14	（生徒にとって、）学校生活は充実していますか。	79.3%	90.3%	88.7%	82.9%	91.8%	80.8%
15	授業や課外などの教科指導が熱心に行われていますか。	97.6%	100.0%	100.0%	92.7%	93.4%	88.5%
16	進路に関する情報は十分に提供されていますか。	91.5%	100.0%	94.3%	87.8%	91.8%	80.8%
17	学校は地域から信頼されていますか。	86.6%	95.2%	98.1%	90.2%	91.8%	82.7%

<考察>

○保護者の回答では「質問9」以降は無回答が5名いた。集計に占める割合は約10%であり、質問9～17の評価に影響を与えた。

○生徒からはほとんどの質問項目に対して8割以上の肯定的な評価を得た。生徒の全体平均は約94%、保護者の全体平均は約86%と高い評価を得ている。

○質問9は例年生徒・保護者とも高い評価を得ている。授業や諸行事を中心に、地域との係わりを持つ機会を設けてきた。それが本校の特色ともなり、地域との連携を生み出している。

○質問12は生徒・保護者とも全学年にわたり評価が低かった。施設の老朽化、経年劣化による汚損等もあるが、日頃から適切な維持管理を継続していきたい。

○質問13は生徒・保護者とも、毎年改善傾向が進んでいる。学校生活の生徒調査、面談週間の設置、小規模校ゆえの目の届きやすさ等が好影響となっている。

○質問16は保護者からの評価が比較的低いが、マイナス評価は1年生が大部分を占めていた。大学進学への情報は十分に行っているが、多様な進路選択を見据えた情報提供を1年生には特に行ってほしい。

○昨年度同様に今後も小規模校ゆえの小回りを生かし、生徒が主体的な学校生活に取組めるよう、また、地域により愛され、より必要とされる学校となるため、本校の教育活動に対する地域や保護者の理解が一層深まるよう、開かれた学校づくりに励んでいきたいと思う。